

# あつ 温ちゃん通信

発行・編集 やまね 温子後援会 〒739-1805 安芸高田市高宮町原田1378  
Tel/Fax: 0826-57-1875 携帯: 090-1180-1136  
mail address : akoyamanee@gmail.com  
face book: やまね温子後援会 ホームページ: yamane-atsuko.com

第10号

2019.4.25 発行



里海の会 木村海産の皆さんと



新元号「令和」

これまでの出会いに感謝  
これからのお会いにワクワク  
さあ新たな一歩を踏み出しましよう

地域で安心して 健やかに  
いきいきと暮らすために  
「家庭菜園を楽しむ女性」

新元号「令和」が発表された4月1日、朝の連続テレビ小説「なつぞら」も始まりました。ご覧になれますか？

「なつぞら」の中で描かれている北海道十勝は酪農地帯。乳牛の世話をする主人公のなつや、怖そうなおじいちゃん？背が高く腰も曲がらずかっこいい草刈正雄さんに、酪農指導をされているのは、私が大変お世話になつた帯広のリバティヒル広瀬牧場の広瀬文彦さん。

全国約300人の酪農家で組織される地域交流牧場全国連絡会（交牧連）の会長を長年務められ、また、この会と連携する「酪農教育ファーム」では、「食といのちの学び」をテーマに子供達に学習の場を提供し、教育活動をおこなつて来られた広瀬さん。先日、この「なつぞら」の酪農指導をしている広瀬さんから頂いたメールには、

「30年前消費者に酪農の素晴らしさを『伝えたい』と思い、交流活動を続けてきました。その『伝えたい』の結実が朝ドラの酪農指導につながり、幸せです。生きている甲斐があります。」とのこと。

20年前酪農に新たな一歩を踏み出した私は、酪農を通じて広瀬さんやたくさんの素敵な方々と出会い、酪農を辞めた今もつながっています。上の写真の木村海産の方々とはもう40年近くのお付き合い。「令和」の時代に向けて、素敵なお会いが巡りますように、まずは新たな一歩を踏み出しましよう。

誘いを受けて、年に一～二回程度、議会の一般質問を傍聴に出向きます。びっくりするほど、執行部や議員との距離が近く、お互いになんでも見透かされそうなほどです。

色々なテーマでのやり取りが聞かれます。身近なことから何のことかよくわからぬ質問まで…。でも、議員のみなさんは、市民の声を聴き、地域をよく見て、裏付けとなる調査をされ質問されているのだと思います。

一方的に行政を非難するだけでなく、より良いと思われる提案もされています。意見交換の良し悪しは判断できませんが、"なるほどな"と感心させられることしばしばですが、一度は「ほんとかな？どうして？」などと、自分なりに考えることにしています。私が議会に思うことは、『この地域で、災害などいろいろな危機から身を守ることができ、安心して暮らしができること。心と体が健やかに維持できること。地域での交流などをもちながら、その人らしくいきいきと暮らせる街づくり』ができるよう、色々な問題の解決と対策をしていただく意見交換をこれからもぜひお願いしたいものです。

## 田んぼアート公園整備事業にかかる当初予算において、

# 平成31年度当初予算に反対

その年度にかかる当初予算に反対することは特別会計を含めた全てを否定することですべきでないと思われますか？

そう考えると、予算に対する市民の多様な意見の反映はどうなるのでしょうか？

以前、予算を修正すると予算書を全て書き換えるといけんようになるけれど反対するもんじゃないと教えて頂いたことがあります。

また、予算が否決された場合を心配される方もいますが、その時は、暫定期間を設け、暫定予算の編成を行うでしょうし、議案は可決に向け再議にかけるでしょう。これも事務的には大変なことではありますが、予算の使い方、限られたお金の使い道は家計にとっても大事なこと、ましてやわが町にとっては紙や労力に比べられない重要なことだと思います。

そうすると、予算に対する市民の多様な意見の反映はどうなるのでしょうか？

以前、予算を修正すると予算書を全て書き換えるといけんようになるけれど反対するもんじゃないと教えて頂いたことがあります。

結果は、本会議においても賛成多数で、田んぼアート公園整備事業にかかる予算を含めた当初予算は可決されました。結果は同じであっても、市民の代表として、市民の多様な意見をそれぞれの議員が自らの一票で反映できたことだと思います。

正案が、児玉議員から予算決算常任委員会に提出されました。委員会では、私も修正案に賛成しましたが、賛成少数で修正案は否決となり、原案が賛成多数で可決され、15日の定例会最終日の本会議にかけられました。本会議では、田んぼアートにかかる予算について私も含めた3人が、しっかりと運営体制で、初期投資を抑えた慎重な事業展開が必要であるなどの反対討論をしました。対して、5人が今回の予算は災害復興予算であり、また地域活性化予算であるとして賛成討論を行いました。

## 多文化共生が目指すもの

## 一般質問

A

課題として受け止める。

Q

公共施設を耐用年数ではなく、利用年数で考え、更新や転用を考えた終期設定を行う考えは。

A

図書館は一人当たりの貸出冊数ではなく入館者数で評価すべき。図書館を快適空間にしては。

A

維持管理は大事なこと。施設点検管理を含めて検討。

Q

市民の生命と財産を脅かす時限爆弾であるとも言われる老朽化した施設。包括的な保守点検委託で安全な維持管理は？

## 公共施設のマネジメント

# 温ちゃんの一言

今回の13名の議員の一般質問の中で、市長は「この街は6年経ったらなくなる」と言われました。また、「体力のあるうちに…」という市長の言葉もあちらこちらで聞かれます。議員から体力があるとはと聞かれれば、国や県が認めてくれる間はというようなことで返答されます。

国や県は、例えば過疎債ならその要件を満たせば認めてくれるのであり、自治体の将来にまで責任を持ってくれる訳ではありません。

また、いかに有利な借金をして始めた事業であっても、その施設などの維持管理費や運営状態による負担は、体力がなくなる子や孫の世代に先送りされ、重くのしかかるやもしれません。新たに作るものに対しては、5年後、10年後の利用を考えた終期設定などの計画を持って進めていくことを提言したつもりなのですが…。

議会で議員が議案を本会議に提出する場合には、2名以上の賛成議員が必要です。  
以下の意見書は、提出者：山根温子、賛成者：熊高昌三、児玉史則の3名で提出、可決されました。

## 日米地位協定の見直しを求める意見書

平成30年7月27日、全国知事会は、全国知事会議において、「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で採択しました。

米軍基地全体では、30都道府県に128施設・約980平方キロメートル、米軍専用施設は、13都道府県に78施設・約263平方キロメートルにわたって存在しており、特に米軍専用施設の31施設、面積では約70%が沖縄県に集中しています。

沖縄県は「米軍基地負担の軽減について検討する場の設定」を、平成27年12月の全国知事会議に提案し、平成28年7月に「全国知事会 米軍基地負担に関する研究会」の設置が決定しました。

この研究会は、沖縄県をはじめとする在日米軍基地に係る基地負担の状況を、基地等の所在の有無にかかわらず広く理解し、共通認識を深めることを目的とし、2年間にわたり調査・研究に取り組みました。

その結果、現状や改善すべき課題を確認し、まとめられた提言は、米軍機による低空飛行訓練等については、

- ・訓練ルートや訓練が行われる時期について速やかに事前情報提供を必ず行うこと
  - ・日米地位協定を抜本的に見直し、航空法や環境法令などの国内法を原則として米軍にも適用させること
  - ・米軍人等による事件・事故に対し具体的かつ実効的な防止策を提示し、継続的に取組みを進めること
  - ・施設ごとに必要性や使用状況等を点検した上で、基地の整理・縮小・返還を積極的に促進すること
- 等を内容としています。

日本と同じように大規模な米軍駐留があるドイツ・イタリアでは、米軍機の事故をきっかけにした国民世論を背景に地位協定の改定や新協定締結がなされ、国内法の米軍への適用強化や大幅な規制強化が実現しています。

しかしながら、日米地位協定は、1960年に締結されて以来、一度も改定されておらず、また、国内法は原則不適用であり、日本には訓練や演習に関する規制権限がないなど、日本と同様に米国と地位協定を結ぶイタリアやドイツの実例を踏まえても、課題があると言わざるを得ません。

よって、国会および政府においては、全国知事会からの提言を実行し、日米地位協定の抜本的な見直しに取り組むよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成31年3月15日

安芸高田市議会

<提出先 次のとおり>

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）

「要望書」を関係機関に提出  
服薬調査の集大成

温ちゃん通信第5号にて掲載した  
NPO法人 高齢社会をよくする女性の会がおこなった「高齢者の服薬に関する実態調査」は、会員の協力によりわずか2カ月の調査期間に、全国で5145票（安芸高田市では百票近く、ご協力ありがとうございました）の回答が集まりました。

高齢社会をよくする女性の会は、この調査を基にした「要望書」を平成31年2月8日に、厚労省医薬・生活衛生局・老健局、日本医師会、日本薬剤師会、日本製薬団体連合会に提出され、各機関のトップとの懇談の機会を得られたとの会報が届きました。

厚労省には、服薬に関する総合窓口の創設、在宅での服薬支援のための人材養成、ジェネリック・お薬手帳・かかりつけ薬局の説明と普及、薬価についてなどの要望が提出されました。

# 里海の会 県北で一日限りの牡蠣小屋 を開催

2019.3.17 高宮ログハウスにて

広島県の里山と瀬戸内海との交流のきっかけになればと始めた「里海の会 県北の牡蠣小屋」もたくさんの皆様のご協力をいただき今年3回目を迎えました。広島からは40年来のお付き合いの木村海産の方々が、斗缶入りの殻付き牡蠣を持ち込み、焼いてくださいました。この日は、雨が降ったり止んだりの天気でしたが、参加した方々も一緒に焼いて楽しんで、ログハウスの中は、食べ放題の海の幸、山の幸とアート、さらにプロ顔負けの歌で熱い世界になりました。

さて、皆さんご存知のように、広島県の名産広島牡蠣を育むためには、たくさんの竹が牡蠣筏として使われています。今は、九州方面からの竹が多いことですが、私たちの里山には竹がいっぱい、もちろん使える竹、使えない竹と竹もさまざまですが、県内産の牡蠣を県内産の竹で応援したいですね。



斗缶で蒸してから焼牡蠣に



木村海産の後継者 頑張れ



これからも仲良く元気でね！



炊き込みご飯と豚汁はお任せ

ログハウスでは前夜まで

方舟—芸術のshow—が開催され、  
音楽と芸術の空間になっていました。

17日も芸術に囲まれ、食と歌と芸術の時間が  
あっという間に過ぎていきました。  
大切なアート作品を翌日も展示して頂いた方々に心より感謝申し上げます。  
ありがとうございました。